

二〇一六年三月刊行

中央公論美術出版

平安密教彫刻論

津田徹英

(東京文化財研究所企画情報部室長) 著

A5判上製函入

モノクロ口絵一六頁／本文八〇八頁／挿図六一六点

本体価格一七,〇〇〇円十税

ISBN 978-4-8055-0751-3 C3071



法界虚空蔵菩薩坐像 (五大虚空蔵菩薩坐像のうち) 京都・神護寺

本書は密教図像学的研究手法を用い、四百年に及ぶ平安密教彫刻のありようを、図像を忠実に彫像として再現する動向、経典・儀軌の所説に則って図像表現を改変しながら彫像化する動向、既知・既存の図像をもとにして日本独自の新たな密教像を創造する動向に大きく分かち、それぞれの動向が平安密教彫刻に多種・多様な展開を促したことを実作例に即して論じ、あわせて、その後の展望を見据えようとするものである。

総論 平安密教彫刻への視座

第一部 密教図像の受容と木彫による再現

第一章 高野山金剛峯寺旧金堂所在 焼失七尊像／第二章 承和期真言密教彫刻の展開／第三章 室生寺金堂本尊私見／第四章 醍醐寺如意輪観音像考／付論Ⅰ 寛治三年の上醍醐清瀧宮造営とその意義／第五章 滋賀・神照寺千手観音菩薩立像／第六章 醍醐寺五大明王像(霊宝館所在)の伝来とその造像／付論Ⅱ 醍醐寺伽藍整備期の造仏工房

第二部 造像と規範

第七章 書写山円教寺根本堂伝来 滋賀・舍那院蔵薬師如来坐像をめぐって／第八章 滋賀・錦織寺不動明王立像の周辺／第九章 滋賀・錦織寺天安堂毘沙門天立像と天台系所伝『北方毘沙門天王随軍護法真言』／第十章 飛天光背の展開／第十一章 神奈川・宝樹院阿弥陀三尊像へのまなざし／第十二章 茨城・五大力堂五大力菩薩像(治承二年銘)

第三部 新たな密教尊像の顕現

第十三章 北斗曼荼羅の展開と「星宿之明鑑」／第十四章 寺門の尊星王／付論Ⅲ 禹歩・反問と尊星王、六字明王の図像／第十五章 千葉・東光院本尊 伝「七星七仏薬師」坐像の図像表現／第十六章 十一面観音像が戴く異形の頂上仏面／第十七章 白河・鳥羽両院の白衣観音信仰とその造像／第十八章 六字明王の出現

結語 平安密教彫刻の地平

著者略歴

津田徹英(つだ・てつえい)

一九六三年、滋賀県生まれ。慶應義塾大学大学院後期博士課程単位取得満期退学。神奈川県立金沢文庫学芸員を経て、一九九九年、東京国立文化財研究所に研究員として着任。二〇一五年、上記大学より博士(美学)を取得。現在、独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所企画情報部室長。
 単著に『中世の童子形(日本の美術42)』(至文堂、二〇〇三年)、『中世真宗の美術(日本の美術48)』(同、二〇〇七年)、責任編集に『仏教美術論集2 図像学Ⅰ—イメージの成立と伝承(密教・垂迹)』(竹林舎、二〇一二年)などがある。

日本彫刻史論叢

B5判上製函入 カラー口絵八頁/本文五三〇頁/挿図四七八点

本体価格三〇,〇〇〇円+税

ISBN 978-4-8055-0380-5 C3071

西川杏太郎 著

関連書籍

田邊三郎助彫刻史論集 日本彫刻とその周辺

B5判上製函入 本文五六四頁/挿図五三二点

本体価格三〇,〇〇〇円+税

ISBN 978-4-8055-0399-7 C3071

中央公論美術出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-10-1 IVYビル6F
 TEL 03-5577-4797 FAX 03-5577-4798
 HP <http://www.chukobi.co.jp/>

お取り扱い